

# KAPATIRAN TIMES

カパティラン・タイムズ

2022年8月 No.38

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18 日本聖公会東京教区事務所内  
Tel&Fax:03(3432) 6449 E-mail:kapatiran.tko@nssk.org  
編集:山崎常城・永瀬良子

## 「奨学金等の目的とは」

理事 山田 修司

先日、奨学金を支給する団体と奨学金の支払いを滞納していた方との話し合いの場にいたのですが、滞納の事情を一切理解しようとせず、頭ごなしに滞納者は悪であると言い張るその団体の担当の物言いに不快感を覚えました。債権回収に力を入れている今の日本の奨学金事業は、そもそも奨学金支給の目的を理解していないのではないかと思ってしまうます。

さて、6月上旬にカパティランの奨学生の選考も終わり、継続、新規の大学生7名、高校生5名が新たにカパティランの奨学生になりました。

今回の面接においては、これまでの奨学生にはいなかった国をルーツに持つ学生の話が印象的でした。その学生は、グアテマラをルーツに持つのですが、面接時グアテマラの男女差別についての話になり、男性は学校に行き、女性は家事手伝いをしていけばいいというような、男性らしさ、女性らしさなど性別による役割分担をする考え方が根強く残っているとのことでした。なお、ジェンダーバイアスによる問題点は、せつかくのその人個人の個性や能力が尊重されず、生かされないことになる等と指摘されています。また、特に15歳未満の女性が住み込みで働く児童労働が今でもあり、そのため、

しっかりとした教育を受ける環境にないとのことでした。教育があらゆる問題を解決するわけではありませんが、多くの可能性を閉ざしているのは間違いありません。

世界には、児童労働や貧困問題、男女差別など、何重もの障壁により、個人の可能性が閉ざされた状況に置かれた若者が多くいます。この問題解決には多くの人の協力が必要ですが、冒頭の奨学金の回収の話ではないですが、少なくとも、若者の支援に関わるのであれば、その目的を忘れず、本当に必要な支援をして頂きたいと思います。

今回も学生たちとの面接を通して、その支援の意味を再度考えさせて頂きました。本年度は、夏のキャンプは開催中止になってしまいましたが、奨学生たちが集まって開催するごはん会も再開し始めています。まだまだ新型コロナの影響は収まりませんが、みなさんと直接会える機会も増え、いろいろなことを教えてもらえると期待しています。そのような彼らを支えるため引き続きご支援をお願いいたします。



2022年度

## 新カパティラン奨学生

今年は新規で4名の高校生が仲間入りしました。来日後、日本語学校を経て、高校に入学した学生もいます。奨学金申請時の作文をお届けします。

### 作文テーマ「10年後の自分」

#### 高校1年 Sさん (フィリピンルーツ)

10年後の自分は、建築士になっていて世界中を旅して、困っている人々のため、家を建てたい人々のために頑張っています。建築士は、親切で真剣にその人のために諦めず、綺麗な家を建てる。物凄い達成感を得られる仕事です。このことをイメージできたのは、祖父のおかげでした。憧れの存在です。祖父の仕事をしている最中の背中を見て、沢山の木工に指示したり、目の前で家を設計したり、その設計図がとても迫力のあるもので、圧倒されました。

ではなぜ自分は建築士になってから世界に行くのでしょうか。その理由は、日本で自分の住んでいる家が小さく、窮屈と感じていた空間が、だんだんと慣れ、今となっては、自分はその小さな空間で、すごく安心することができたのがきっかけです。日本で歴史、地理、公民と習っていくにつれ段々と世界の人々が困っていることに気がついていきました。例えば紛争の絶えない国で難民となり、恐怖と戦っている人々、地震が多く建物の下敷きになる人々、住む場所がなくなっている動物たち、人種差別、今となってはウクライナ侵攻、コロナ感染者で悩む人々など数えきれない問題があります。その中でも自分が関係深いと思うのは、空間、場所だと思っています。大胆に言うと家になります。よって強引にはなりません。そのためには建築士となってその

人々や動物たちが安心して暮らせる、そして窮屈を感じさせない家を建てていく必要があると考えました。

僕の好きな未来というのは明るく、仲良く、元気な世界です。そのために、まず恐怖をなくすために頑丈で圧迫感のない建物を発明する必要があります。発明で必要とされるのは「1%のひらめきと99%の努力である」と聞いたこともあります。エジソンの名言です。これを参考にしてみると必要だと思うのは沢山の人の出会い経験を積み、イメージを広げること、沢山の勉強、運動、この3つだと自分は思います。この3つを成し遂げ自分のゴールへと向かっていきたいと思っています。そして温かな生活を築きたいと思っています。

#### 高校1年 Kさん(フィリピンルーツ)

10年後に私は、自分のやりたいことを仕事にして、働いていたいと思います。そのためには、今年の4月から入学した高校生活を充実させることがとても大事だと考えています。小学生の頃から、ずっと絵を書いています。最初は、小さなノートにラクガキのような絵を書きました。でも、絵を書くことはとても楽しくて、気付けば、色々な絵を書いたり、小さなノートに書くだけでなく、スケッチブックやiPadなど、本格的な道具を使って書くようになっていました。絵を書くことがとても楽しいことはわかっていましたが、同時に道具をそろえることのむずかしさも感じました。家庭の収入は厳しく、私のお小遣いだけではそれらの道具をそろえることはできません。私は自分の書いた絵を母の友人たちに見てもらって、将来自分がイラストを書くことを仕事にしたい、そのために今の自分に少しでも投資、本格的な絵を書く道具をそろえることを支援してほしいとお願いしました。母の友人たちは私の絵

に関心を持ってきて、結果私はiPadなど、本格的に絵を書く環境を手に入れることができました。高校に入学することも苦難がありました。私は小学生の高学年から支援学級に入っていたので、成績表のルールにより、一部の高校の入学に制限がありました。支援高等学校の入学をすすめられたりもしましたが、自分の将来の夢であるイラストレーションの仕事にかかわるためには、どうすればよいかを一生懸命に考えました。また、自分自身どうすべきかを考えました。その結果、今の高校に入学して、普通科のクラスの一員として楽しく授業を受けています。この生活を続け、自分の夢を叶えて、10年後も自分の希望に正直な自分でいたいと思います。これからの高校生活は、私も大人になる途中の過程でもあり、今まで以上の困難がたくさんあると思いますが、自分に正直に、色々な問題を乗り越えて、楽しい将来のために、頑張っていきたいと思っています。

### 高校2年 Cさん(フィリピンルーツ)

今から10年後の自分は26歳だ。正直、10年後の私は想像ができない。来年は高校3年生になり、受験生になる。卒業後の進路はどのような道を進んでいるだろうか。就職し、社会人になる時には学生と違って、今までにない経験や体験をすることができるだろう。

高校の入学式。今と似たような心境だった。中学とは環境が大きく変わる。電車に乗って通学し、制服も変わり、初心に戻ることを味わった。不安もあった。今、1年を振り返ると、得たこと、学んだことは多くある。例えば、言葉の重み、責任の重み。中学とはまた違う重さを感じた。誰でも初めてのことは、不安を感じるだろう。だが、やってみないと分からないことは多くある。きっとこれから、数年後、数十年後、たくさんの不安を抱え

と思うが、これまでの経験を活かし、いい変化を重ねていきたい。高校卒業後は、大学に進学したいと考えている。今、グローバル化が進む社会の中で生きていくには、英語力が必要不可欠になっていくと思っている。大学では、多文化交流をし、価値観を受け入れながら、最終的には、留学をし、グローバルな仕事がしたい。私は十年後の自分を想像できないが、部活、行事、ボランティア活動など、今出来ることを全うし、将来に繋げていきたい。

### 高校3年 Aさん(フィリピンルーツ)

29歳の私。あなたのことを考えると、私と同じ子供時代を過ごしていますが、私にはまだ知られていない未来を生きている、なじみのある見知らぬ人のことを考えることです。どのような人になったのか？仕事で満足しているか？一生一緒にいたい人を見つけたのか？答えはわかりません。しかし想像が出来ます。

10年後には、国をつなぐ仕事をし、言語や文化の違いで困る外国人に手を貸したいです。そのために、私は言語の勉強に力を入れ、五か国語以上が話せるようにします。今はタガログ語、英語、日本語の三か国語が話せますが、スペイン語や韓国語等もこれから学んでいきます。より多くの言語を学ぶことで、より多くの人々とコミュニケーションをとることが出来るようになります。29歳の私を想像すると、通訳をしたり、生活に必要な書類を翻訳したりする自分が見えます。未来の私は知るべきことをまとめ、多国語の書物を作り上げるのに頑張っているでしょう。大変だと思いますが、人の助けになれると信じて諦めず進んでいくはずです。

しかし、私はそれだけでは満足しません。10年後の私は、子供の頃から夢だった作家になっていると思います。その私

はそれまで経験したことを忘れずに、立派な小説を書き、また、人に希望や力を与える作品を創作しているとイメージします。今は時々詩を書いたり、ストーリーを想像したりしていますが、自分の想像力とクリエイティビティをより活かして人を感動させる作品を作り出したいと思います。それを出来るようになるのに、私は、エッセイや小説風な日記を毎日書くようにしています。その上に、色々なジャンルの小説や短編を読み、書き方等に注目しています。

私は自分を磨きながら自分自身を忘れないようにします。今まで経験したことや感じたこと、夢と希望を全部持って未来に一步步進みます。人を感動させる様々なテーマについての作品を作ると同時に国際的な仕事をして人の助けになる存在になりたいです。今の19歳の私が望んでいる29歳の自分はそういう人です。



### ■皆様のお支えに心から感謝申し上げます。

2022年4月～2022年7月(順不同・敬省略)

#### 《個人献金》

##### 2022年4月

菅谷恵康 宮崎なを

##### 2022年5月

菅谷恵康 宮崎光

##### 2022年6月

安達真理子	三宅章	松村裕美子
横内光乃	蒔田裕光	長谷川清純
犬塚靖子	小澤和	塚本祐子
飯塚みや子	本多峰子	高橋理佳
保坂久代	木村真理子	藁谷さた
北村アイリーン		

##### 2022年7月

野村紘子 山本和子 川崎葉子

#### 《奨学金》

横内光乃	戸田晴美	小田京子
中野京子	関晴子	匿名2名
安藤裕子*4		

(\*数字は献金いただいた回数です)

#### 《多文化共生ホームステイ》

関澄子

#### 《後援会費》

前田眞智子	大谷偕子	横内光乃
三宅章	小林幸子	大竹邦子
中村由佳	鳥井祥子	嶋崎勢津子
藁谷さた		

#### 《教会・学校・企業・NPO等》

八王子復活教会\*毎月 宮古聖ヤコブ教会  
FAH こすもす  
立教女学院キリスト教センター  
難民移住労働者問題キリスト教連絡会  
ハワイコーヒーカンパニー合同会社

### ご支援をお願いいたします。

#### ■郵便振替

名 義:カパティラン  
振替番号:00190-3-581517

#### ■銀行振込 三菱 UFJ 銀行

名義:カパティランササモリタツ  
口座番号:0150100 虎の門支店  
※銀行振込の際は通帳にお名前しか記載されません。領収書をお送りいたしますので、ご連絡をお願いいたします。  
kapatiran.tko@nssk.org

#### ■インターネット

Giveone カパティランで検索  
<http://www.giveone.net/>  
※寄附金控除・税額控除あり  
※クレジットカード可

#### ■facebook

いいね！で支援

